

# ドライブレコーダー ZDR041

取付説明書 取扱説明書/保証書



お買い上げ時の設定では、液晶表示は安全運転の妨げとならないように、起動後速度 10km/h以上で走行すると非表示に切り替わります。

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載しております。正しくご利用いただくために本書をよくお読みの上、ご利用ください。お読みになった後は、いつでも見ることできる所に保管してください。なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

### 注意

本製品が動作した状態(駐車監視モード中含む)でmicroSDカードの抜き挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キー-スイッチをOFF後、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認し、microSDカードの抜き挿しを行なってください。

### アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDカードを抜いて保管してください。

万一の事故発生時に映像が記録されていないか、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

# ZDR 041 保証書

コピー不可

本書は保証規定に明示した条件のもと、無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| 品番       | ZDR 041                                       | シリアルNo. |  |
|----------|---|---------|--|
| お買い上げ年月日 | お買い上げ日 西暦 年 月 日                               |         |  |
| 保証期間     | お買い上げ日から 3年                                   |         |  |
| 対象部分     | 本体 ※消耗部品および付属品は除く。                            |         |  |
| お客様      | お名前 様 店名・住所・電話・印印<br>ご住所 〒 - -<br>電話番号( ) - - |         |  |
| お取引車両    | メーカー名 車名 年 型 グレード                             |         |  |
| 故障内容     |   |         |  |

※保証書に販売店名、購入年月日を証明するものまたは購入証明書(納品書や領収書)が無い場合は保証対象外として扱われます。またお送り頂く際には保証に含められません。あらかじめご了承ください。

### お問い合わせ

製品のお取付方法、修理等に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記弊社サービスセンターまでお問い合わせください。ただし、お客様ご自身の取付作業に対するサポートはおりません。

**0800-200-5654**

受付時間 10:00~17:00  
※土・日・祝日および、年末年始・夏季休暇・GW等、弊社指定期間を除く。  
※非通知設定でおかけできません。恐れ入りますが電話番号の頭に「1」88をつけるなど、電話番号を適切におかけください。  
※対応は平日のみです。公休電話、02から始まるIP電話からはご利用いただけません。また、一部の光電話からもご利用いただけます。その際は下記番号よりおかけください。

0561-56-1814 (有線)

〒470-0151 愛知県知多郡東郷町大字緑橋池上1-1  
HP: [hps.comtec.co.jp](http://hps.comtec.co.jp)

第2版 014032-EM

# 保証規定 (必ずお読みください)

| 保証期間   | ご購入日より 3年間  |
|--|---|
| 対象部品   | 本体 ※消耗部品および付属品は除く   |
| <b>1. 保証の内容</b><br>取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理(保証修理)を受けることができます。<br>(以下、この無償修理を保証とします)<br>保証修理は商品の交換あるいは製品の交換により行います。ただし保証対象の修理に限り、修理・交換ができない部品は、弊社指定の部品と交換させていただきます。この保証規定による保証修理の対象は本書記載の対象部品です。<br>44. 本製品またはその付属品を記録するに使用された部品には保証がありません。  | (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地災や公害・腐食・異常電圧・事故などによる故障または損傷。<br>(7) 弊社指定の部品以外でのご使用による故障または損傷。<br>(8) 本製品の使用目的以外のデータを記録したmicroSDカード、弊社指定以外のmicroSDカードのご使用による故障または損傷。<br>(9) 車禍事故によって生じた記録データの消失または破損。<br>(10) 使用期限満了を経過したmicroSDカードをご使用になられたことによる記録データの消失または破損。<br>1) カメラレンズの汚れ、フロントガラスに付着した汚れ・水滴・高湿度露などを含め記録したデータの消失。<br>2) 本製品以外の故障等に誘発された記録データの消失・破損、本製品の故障または損傷。<br>3) ご使用によって生じた外観・美観・色あせなどの外観上の損傷。<br>4) 取説記載に示されていない、通常の使用を超えた環境下で長期にわたってのご使用による故障または損傷。<br>2) 本製品に付属する各部品の保証期間を記載してあります。保証期間満了後の修理等についてはご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。 |
| <b>2. 保証の受け方</b><br>保証期間中に不具合が生じた場合は、販売店に修理依頼を申し出ていただき、修理をおこなうことができます。修理費用は保証期間中に発生した場合は無料となります。修理費用がかかる場合は、修理費用を自己負担していただきます。修理費用は保証期間中に発生した場合は無料となります。修理費用がかかる場合は、修理費用を自己負担していただきます。   | <b>4. 保証の発効</b><br>この保証は保証書に記入、捺印することにより有効となります。保証書に捺印したままの状態で発生した場合は保証に適用されません。  |
| <b>3. 保証しない事項</b><br>1) 取扱説明書に記載されていない「警告・注意」ご留意の事項に違反したご使用による故障または損傷。<br>2) 車載ドライブレコーダー以外の用途(例えば、住居・船舶・建設機械等)で使用されたことによる故障または損傷。<br>3) 指定以外(DC12V)の電圧でご利用したことによる故障または損傷。<br>4) 弊社指定の保証対象外の修理または修理費用。弊社指定の保証対象外の修理または修理費用。弊社指定の保証対象外の修理または修理費用。弊社指定の保証対象外の修理または修理費用。<br>(5) お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。 | <b>5. 保証の適用</b><br>この保証は日本国内でのご使用にのみ適用されます。本保証は海外にわたる保証に適用されません。<br>(This warranty is valid only in JAPAN)  |
| <b>4. 保証の発効</b><br>この保証は保証書に記入、捺印することにより有効となります。保証書に捺印したままの状態で発生した場合は保証に適用されません。   | <b>6. その他</b><br>この保証は本書に明示した範囲、条件のもとに限り保証修理をお約束するものではありません。この保証書によって保証書が発行されている(保証責任)および、それ以外の保証責任に対する本製品の法的な権利を制限するものではありません。保証期間満了後の修理等についてはご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。  |

# はじめに

## 安全上のご注意

ご使用前の、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。また注意事項は読んだ取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して説明しています。

- 警告** この表示は、「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
  - 注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。
- 本書で使用している記号について
- この記号は、してはならない「禁止」内容を示しています。
  - この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
  - この記号は、気をつけてほしい「注意」内容を示しています。
  - アドバイス 本製品に関する補足情報を説明しています。
- 長押し スイッチを2秒程度長めに押すことを示しています。

- 運転中は走行中に本製品を操作しないでください。視界や前方不注意により交通事故の原因となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本製品を水につけたり、水をかけたり、また濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- 穴やすき間にピンや針金を入らないでください。感電や故障の原因となります。

- 警告**
  - 異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
  - 運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
  - エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を招く原因となります。
  - microSDカードは子供の手が届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
  - 取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的な点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
- 注意**
  - 気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
  - 本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
  - 本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の变色や変形など故障の原因となります。
    - 直射日光が当たった場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い場所。
    - 湿度が高い所やほこりの多い所。
  - microSDカードを本製品に挿し込む場合、挿し込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
  - 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
    - 本体に静電気や電磁ノイズが加わった場合。
    - 本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
  - 一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制動に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前、車両の取扱説明書をご確認ください。

## ご使用上のご注意

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載専用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりカメラレンズなどの機能を保護するおそれがありますのでご注意ください。またイヤホンなどの音で発生している音、これらの場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDカードを抜いて保管してください。
- microSDカードの抜き挿しを行う際は、必ず車両キー-スイッチをOFFし、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認後、microSDカードを抜いてください。microSDカードのデータ書き込みおよび読み込み中にmicroSDカードの抜き挿しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDカード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用する前に、必要なデータはバックアップを保存することを必ずおこなってください。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはバックアップを保存することを必ずおこなってください。
- 本製品は動作環境範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が破損に記録されない場合があります。
- 異常なほどの炎天下に使用すると、液晶画面の表示を行わず、または録画できなくなる場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げからご使用ください。
- LED式発熱はLEDが高熱で点滅しているため、信号色が減速している場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が高い等により、信号の色が判別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周囲の車両状況から判断してください。信号色の判別、記録に使用する内容については弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや歪みが生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異音ではありませんが、あらかじめご了承ください。
- 一部熱劣化(金属コティング・金属粉入りなど)、一部熱吸収ガラス、一部のポリマーフィルム装着車では地上デジタルテレビ放送が受信できない場合があります。
- 電磁界では地上デジタルテレビ放送が受信できない場合があります。
- WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、ビジュアル地図で地図が表示できないなど、正常に動作しなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から3年間の製品保証がついています。(ただしmicroSDカード、両面テープ、本体内部バッテリー等の消耗品およびその他付属品の保証対象となります。)
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア(ファームウェア)のアップデートプログラムを弊社ホームページで公開する場合があります。定期的な弊社ホームページをご確認ください。常に最新のバージョンのご使用を推奨します。※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品はDC12V車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## 知っておきたいこと

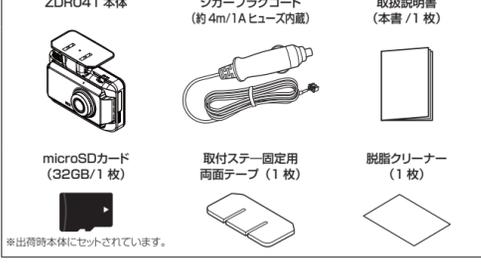
- **GPSとは**  
[Global Positioning System]アメリカ国防総省の衛星を利用して、地上での現在位置を計測するシステムです。
- **衛星データ**  
本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を始めるためです。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合があります。
- **GPS 衛星受信と車載電子機器**  
ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器が分離したGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。
- **GPS の測定誤差について**  
本製品のGPS機能は衛星の受信状態などにより、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。
- **GPS の速度表示について**  
GPSでの速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。
- **液晶ディスプレイについて**  
液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これは故障ではありませんが、あらかじめご了承ください。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約65℃以上になると液晶ディスプレイの全体が黒くなった、約-10℃以下になると画像が表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかりたりします。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。本体温度が高くなると本体保護のため液晶表示を行いません。高温による液晶表示のOFF中は、画面の温度が液晶表示されている場合でも、録画機能は正常に動作しています。動作の状態についてはLEDランプ/ランプ表示をご確認ください。
- 動作速度範囲を超えた場合、録画機能を停止します。よくあるご質問をご確認ください。
- **日時情報保持用の内蔵/バッテリーについて**
  - 本製品は日時情報を保持するために本製品内部にバッテリーを搭載しています。
  - 初めて使用する場合や長期未使用(6ヶ月以上)の場合は、1時間ほど走行し内蔵/バッテリーの充電を行ってからご使用ください。
  - 内蔵/バッテリーは消耗品のため充電を行なっても日時情報がリセットされる場合は、裏紙記載の弊社サービスセンターまでご相談ください。内蔵/バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。

## microSDカードについて

- microSDカードについて
  - 付属のmicroSDカードは本機専用です。
  - 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
  - 本機に対応microSDカードと付属microSDカードは以下の通りです。
    - microSDカード: 8GB~128GB(class 10推奨)
    - 付属microSDカード: 32GB(class 10)
  - microSDカードは消耗品であり、書き込み回数や製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約2~3年を目安に交換することをおすすめします。また、使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
  - ※対応したmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
  - microSDカードの寿命が近くなると、起動時にmicroSDカードの交換推奨時期であることをお知らせします。microSDカードの寿命により映像の記録ができなくなる前に早めにmicroSDカードを交換することをおすすめします。
  - microSDカードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
  - 本製品を使用時は付属または別売オプションmicroSDカードを使用してください。弊社製品以外のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- **本製品のファイルシステムについて**  
本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム(FATなど)に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。本製品の専用ファイルシステムはデータの破損と削除の繰り返しによるmicroSDカードの断片化が起らないファイルシステムとなっているため、microSDカードを定期的にフォーマットせずとも使用することができます。
- 本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行なっても、本機に戻すと復元されます。記録したデータを削除する場合は、本機の機能設定メニュー内microSDカードの初期化より初期化を行ってください。
- パソコンなどでフォーマットを行なったmicroSDカードを本機へ挿入すると[SDカードの初期化]確認画面が表示されますので、そのまま使用の場合は初期化を行なってください。
- 本製品はmicroSDカードを定期的にフォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

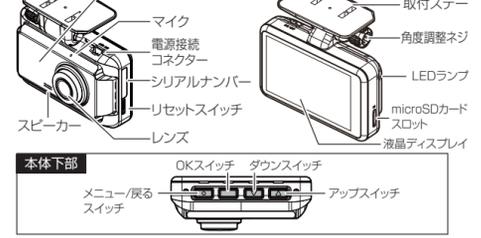
## 梱包内容

ご使用頂く前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。



別売オプション品の詳細については、弊社ホームページをご確認ください。

## 各部名称



## 本体を取付ける

本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

1. ステアの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整します。調整後角度調整ネジを締めます。



- 必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行ってください。破損の原因となります。
- 角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- 角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 定期的にネジの緩みがないか点検を行ってください。

## アドバイス

- 画面表示設定を[OFF]にしている場合、【メニュー/戻る】スイッチを短押しすることで液晶が30秒間再表示されます。
- 本体温度が高温の場合、本体保護のため液晶表示を行いません。
- カメラレンズを触れず、かつレンズが曇り、映像の焦点がズレてしまったり、取付けの際にレンズに傷を付けないようご注意ください。

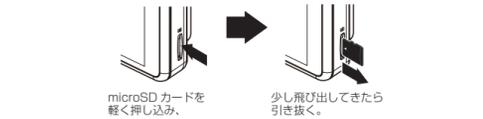
2. 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。



- 必ず付属の脱脂クリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ(油分・水滴など)をキレイにし、乾かしてから取付けを行ってください。パーズクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- 取付け両面テープはしっかりと貼付ください。引っ張り、無理な力を掛けないようご注意ください。剥がれの原因となります。

## microSD カードの取り出し方について

microSDカードを取り出すときは、車両キー-スイッチをOFFにして、一度microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、[カチッ]と音が鳴るまで押し込んでください。



- 本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SDカードロック周辺、SDカードは特に高温になります。触れる際はご注意ください。
- 本製品が動作した状態(駐車監視モード中含む)でmicroSDカードの抜き挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キー-スイッチをOFF後、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認し、microSDカードの抜き挿しを行なってください。
- 駐車監視モード動作中は駐車監視モードを終了させ、取り出しを行なってください。
- microSDカードは駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早い交換が必要となります。
- 付属または弊社別売オプション以外のmicroSDカードの動作保証は致しかねます。

## リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細い物で押し、本製品のシステムを再起動してください。

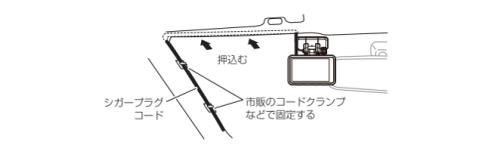
- リセットスイッチを押しると、設定や記録された映像は消去されません。



## 取付け方法

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを挿し込み、本体の電源接続コネクタにシガープラグコードのコネクタを挿し込んでください。

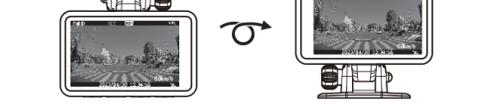
## 3. シガープラグコードの配線の取直しを行ってください。



- 運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取直しを行ってください。
- 地デジラジオ、ワイパー、ETC等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- 先進運転支援システムのカメラやセンサーなどケーブルを束ねて配線を行わないでください。
- ケーブルの余長を車両 ECU やプロセッサなどの付近へ束ねてください。
- 各ケーブルより離れて余長処理を行ってください。

## ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵のGセンサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。



2. 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。

画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中に本体を反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行ってください。

## 注意

- 自動車の運転の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲内には取付けしないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。
- ダッシュボードの形や素材によっては取付けできない場合があります。また、経年劣化等により両面テープや接着剤が剥がれ取付けが難しくなるおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側にフロントガラスへ取付けを行なってください。

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わらフロントガラスへの取付けに比べ本体温度が高くなりやすくなります。高温による液晶表示のOFF時は、液晶の表示およびメニュー画面の操作が行えません。本体温度が下がってから操作してください。液晶表示がOFFになる場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。また、本体温度がさらに高温になると本体動作を停止します。温度が下がってから再起動してください。

- 画面表示設定が速度連動またはOFFの場合は、液晶表示OFFのアクションがありません。

## 本体を取出す

1. 角度調整ネジを緩める
  2. 取付ステーを取り出す
- ①ボルトを緩める
  - ②本体を引く ※外す際に液晶の裏面に傷を付けないようご注意ください。

## 動作を確認する

- **GPSの受信を確認する**  
車両キー-スイッチをONにし、本機起動後、GPSアイコンが確認されることを確認してください。
  - GPSを受信することで本体の日時が設定されます。
  - GPSの受信には数十秒~数分かかる場合があります。

## アドバイス

衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品のGPS機能の働かないため、GPS機能による表示が正常に働きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなど目詰まりした場所、鉄道や道路の高架下・森の中など)の場合、場所を移動してから確認を行ってください。

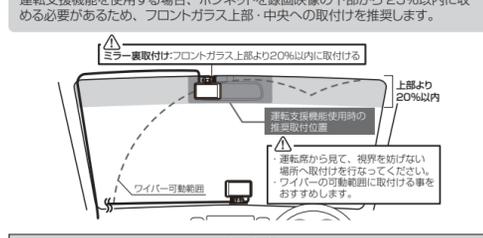
## マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LEDランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、[OK] [ダウン] / アップスイッチのいずれかを押しってください。
- 2) [ピピッ]と音が鳴り、液晶画面の[REC]表示が[REC M]に替わり、音声および録画データが記録します。
  - マニュアル録画中はLEDが緑点滅します。
  - 音声は自動で録音されます。

お買い上げ時の録音設定は[ON (大)]になっています。設定で[ON (小)]や[OFF]にすることもできます。

## 取付位置を確認する

本製品を取付ける際は保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。



## 注意

- フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際シートと干渉しない位置に取付けてください。
  - ※道路運送車両法の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第195条および別添37ダッシュボードへの取付けの場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
  - ※道路運送車両法の保安基準第21条(運転席)、細目告示第183条および別添29ワイパーの可動範囲に取付けることをおすすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなる場合があります。地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
  - 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行ってください。
  - 本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
  - 本製品を車載シールドの上に貼らないでください。
  - 車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
  - 本製品の取付位置(フロントガラスまたはダッシュボード)により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずセンサー設定を見直してください。
  - 本製品のカメラ側に遮光物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置は十分注意してください。

## 記録した映像を確認する

- 本機メインメニューから再生し、記録した映像で下記内容を確認してください。
  - [常時録画]内の現在の日時をもとにしたフォルダー内に、車両キー-スイッチONからOFFまでの映像が正常に記録されています。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなる場合があります。
  - [マニュアル録画]内の現在の日時をもとにしたフォルダー内に、スイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること。
  - 録画データに音声で録音されていること。

## 映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



## 事故発生時の衝撃が強い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

## アドバイス

- microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータが順に上書きして新しいデータを記録します。
  - 起動直後や録画データの記録直後スイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
  - スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
  - LEDランプが緑点灯または緑点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。

## 常時録画について

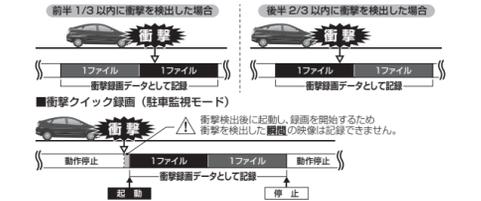
車両キー-スイッチをONにした後から車両キー-スイッチをOFFにするまで、常時録画データとしてmicroSDカードに自動で録画を続けます。

- 駐車監視常時録画データも常時録画の領域に記録されます。

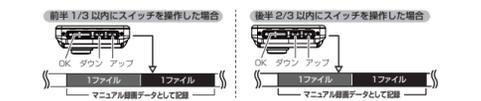
## イベント録画について

- イベント録画には下記の3種類があります。
  - [衝撃録画] 衝撃を検出した時点のファイルを記録
  - [マニュアル録画] スイッチを操作により録画した時点のファイルを記録
  - [駐車監視衝撃録画] 駐車監視モード中に衝撃を検出した時点のファイルを記録

- 衝撃録画データ/駐車監視衝撃録画データ/駐車監視衝撃クイック録画データ**
  - ・本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを「衝撃録画データ」として記録します。また、駐車監視モード中に衝撃を検出した場合は「駐車監視衝撃録画データ」として記録します。
  - ・駐車監視モード中の録画方法を「衝撃クイック録画」に設定した場合、通常時は動作を停止（スリープ）しています。衝撃を検出すると起動し、起動後の2ファイルの映像を記録後、再度動作を停止（スリープ）します。
  - ・Gセンサーの感度は設定により感度調整することができます。



- マニュアル録画データ**
  - ・本製品の【OK】【ダウ】ン【アップ】スイッチを押すと、スイッチを操作した時点のファイルおよび前または次のファイルを「マニュアル録画データ」として記録します。



### microSD カードの容量による記録時間の目安

- ・下記表は常時録画記録時間を示します。
- ・記録時間はmicroSDカードの容量、録画設定により変動します。
- ※太枠は付属 microSD カードを示します。

| 録画設定 | microSDカード容量 |       |       |       |        |
|------|--------------|-------|-------|-------|--------|
|      | 8GB          | 16GB  | 32GB  | 64GB  | 128GB  |
| おすすめ | 約65分         | 約135分 | 約270分 | 約545分 | 約1090分 |
| キレい  | 約60分         | 約125分 | 約250分 | 約500分 | 約1000分 |
| ロング  | 約80分         | 約165分 | 約330分 | 約665分 | 約1330分 |

## パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社ホームページよりダウンロードできる専用ビューソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。専用ビューソフト以外の再生ソフトを使用すると正常に再生できない場合があります。

### アドバイス

- ・ビューソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
  - OS：日本語版 Windows 8.1 / 10 / 11
  - CPU：Core i5 プロセッサ 2.7GHz 同等以上を推奨
  - グラフィックス：Intel HD Graphics 620 同等以上を推奨
  - メモリー：8GB 以上を推奨
  - モニター解像度：FullHD (1920×1080) 以上を推奨
  - ※タブレット・PC を除く。
- ・パソコンの OS アップデートによりビューソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページの最新版のビューソフトをダウンロードし、お試しください。
- ※ 最新のビューソフトが公開されている場合、ビューソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)

### ビューソフトを使用する前に

本体から microSD カードを抜いてください。microSD カードを抜く際は、車両キースイッチを OFF し、本体LEDの消灯を確認後、引き抜きます。

### 注意

- ・本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいです。触れる際はご注意ください。
- ・本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSD カードの抜き挿しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。

### ビューソフトを使用する

- 1) 弊社ホームページ(https://www.e-comtec.co.jp/)のお客さまサポート内【ビューソフトダウンロード】より本製品専用のビューソフトをダウンロードします。
  - 2) ダウンロードしたファイルを展開します。
  - 3) 本体から抜き取ったmicroSDカードをパソコンへ挿入します。
- 2) で展開したフォルダ内にあるビューソフトをダブルクリックします。

## 緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約30秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
- ※前後・左右・上・下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を【OFF / 1.1G (敏感) ~2.0G (鈍感)】から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1.5G】に設定されています。



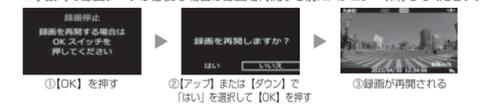
マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

### アドバイス

- 事故があった際...**
  - 本製品は microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画をそれぞれのデータを上書きして新しいデータを記録します。
  - そのための事故後、microSDカードを抜かずそのまま録画を続けさせ、修理工場まで修理を行う際、本製品の電源がONになった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。**
- 万一、事故に遭した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし、microSD カードを抜き、といった行動を取るの難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをおすすめします。

### 録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。



## ワンタイム駐車監視モード / 駐車監視モードバス機能

- ・OKスイッチを**長押し**することで、一時的に駐車監視モードをON/OFFにできます。
- ・車両キースイッチのOFF後でも、OKスイッチを**長押し**した時点で駐車監視モードを開始することができます。また、駐車監視モード中に操作を行うことで、駐車監視モードを終了することができます。

### 駐車監視モードについてのご質問

- Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？
  - A. 本製品の駐車監視モード中は車両キースイッチOFF後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード中でも「駐車監視録画時間」設定時間経過後や、車両（バッテリー）の電圧が「駐車監視録画停止電圧」設定以下になると、駐車監視モードを終了します。
    - ※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中に本体の動作温度範囲を超えた場合も、駐車監視モードを終了します。あらかじめご了承ください。
- Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまいませんか？
  - A. 1. 「駐車監視モード」設定が【OFF】になっていないかご確認ください。
  - 2. 本製品は車両（バッテリー）保護のため、駐車監視録画停止電圧が設定されています。車両（バッテリー）が強化している場合など、エンジンOFF後の車両（バッテリー）の電圧が「駐車監視録画停止電圧」設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
  - 3. HDROP-14「駐車監視・直接続コード」の常時電源線（黄）を、車両 ACC 線へ接続していたり、未接続だと駐車監視モードへ移行しません。
  - 4. 以下のような状態で駐車監視モードへ移行しません。
    - ・「microSDカードを確認してください」と表示中
    - ・「SDカード初期化」画面表示中
    - ・本体温度の高温または低温による動作停止中
    - ・緊急録画停止中
- Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？
  - A. 駐車監視モード作動中は本体のLEDランプが点滅を繰り返します。各設定でのLEDの状態はLEDランプ確認表を参考に確認ください。
  - Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？
    - A. 駐車監視モード作動中はヘッドライトなどの光源が無い場合、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

## 付録

### よくあるご質問

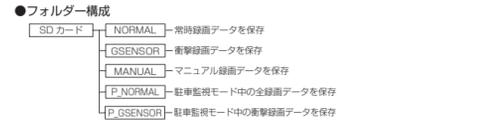
| 内容            | ここをチェックしてください。  |
|---------------|---|
| LEDランプが点灯しない。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● シガープラグコードのケーブルが切れていませんか？</li> <li>● 接触不良や断線などしていませんか？</li> </ul> |

## 録画領域について

- ・ microSD カード全体の80%を常時録画、20%をイベント録画の領域として設定されています。
- ・ 駐車監視常時録画は常時録画の領域、駐車監視衝撃録画はイベント録画の領域に含まれます。そのため駐車監視モード中に記録上限に達した場合、通常の常時録画データまたはイベント録画データの古い映像が順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

### 保存先フォルダ名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダへ録画を開始した日時・録画データの種類のをもとにしたファイル名で保存されます。



- ファイル名称は以下の内容で保存されます。**
- 録画を開始した 年 月 日 時 分 秒 録画データ種類
- YYYYMMDD\_hhmmss\_XXXI.AVI
- ※年月日および時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。
- 例) 2023/04/30 17:23:45に常時録画を開始したカメラ映像のフォルダ名とファイル名
- NORMAL 20230430\_172345\_Nor.AVI  
 GSENSOR 20230430\_172415\_Nor.AVI  
 MANUAL 20230430\_172445\_Nor.AVI

### 録画データ種類部の表示について

| 表示    | 内容          | 表示    | 内容          |
|-------|-------------|-------|-------------|
| Nor   | 常時録画データ     | Gan   | 衝撃録画データ     |
| Man   | マニュアル録画データ  | P_Nor | 駐車監視常時録画データ |
| P_Gan | 駐車監視衝撃録画データ |       |             |

※ また録画状況により下記の内容が追記される場合があります。

| 表示      | 内容                     | 表示 | 内容                       |
|---------|------------------------|----|--------------------------|
| Restore | 復元されたデータ               | c  | 高温または低温状態により、録画を終了したデータ  |
| SDexit  | 録画中に電源OFFされたデータ        | s  | 緊急録画停止機能により録画を終了したデータ    |
| Rst     | 日時情報が初期化された状態で録画されたデータ | v  | 電圧低下により駐車監視モードが終了した際のデータ |

- 5) ビューソフトの【読み込み】ボタンをクリックし、フォルダまたはファイルを選択して映像の再生を行います。

## 専用ビューソフトの詳細に関しては弊社ホームページをご確認ください。

## 設定を変更する

本製品の設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

おまかせ録画の設定を変更した際は microSD カードの内容をすべて初期化します。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。

### 設定画面での操作方法

- 例) おまかせ録画の設定を【おすすめ】に設定変更するには・・・
  - 1) 録画面画面上で【メニュー/戻る】を**長押し**し、メインメニューを表示する。
  - 2) 【録画・録音設定】が選択されているので【OK】を押す。
  - 3) 【おまかせ録画】が選択されているので【OK】を押す。
  - 4) 【SDカードの初期化】確認画面が表示されるので、初期化しても問題なければ【OK】を押す。
  - 5) 【アップ】を1回押し【おすすめ】を選択して【OK】を押す。
  - 6) 【メニュー/戻る】を**長押し**し、設定画面を抜けると録画面面に戻ります。

## 映像を撮る

### 録画を開始する（電源をONにする）



### 録画を終了する（電源をOFFにする）



### 録画面面表示



| アイコン              | 表示内容                             |
|-------------------|----------------------------------|
| ① Full HD / HD    | 録画サイズ (Full HD / HD) を表示         |
| ② REC REC G REC M | 録画種類 (常時録画 / 衝撃録画 / マニュアル録画) を表示 |
| ③ HDR             | HDR 機能が有効であることを表示                |
| ④ (音声) (OFF)      | 音声録音の設定 (ON 大 / ON 小 / OFF) を表示  |
| ⑤ GPS             | GPS の受信状態を表示                     |

※ 上下のアイコンおよび日時表示部は約 30 秒経過すると表示が消えます。【メニュー/戻る】スイッチを押すと再度表示されます。

## 設定一覧

表内の【太字】は初期設定を示します。

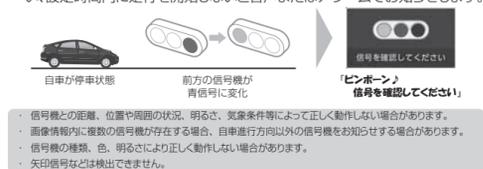
| 項目       | 項目説明                        | 設定値   | 設定内容 |
|----------|-----------------------------|---|------|
| おまかせ録画設定 | 記録する映像の録画サイズ、フレームレートを設定します。 | おすすめ Full HD (1920x1080)、17.5fps で録画を行います。<br>【キレい】 Full HD (1920x1080)、27.5fps で録画を行います。<br>ロング Full HD (1280x720)、17.5fps で録画を行います。 |      |
| 録音設定     | 録画する映像に音声の録音を行うか設定します。      | OFF 音声の録音を行いません。<br>ON (小) 小さな音量で音声の録音を行います。<br>ON (大) 大きな音量で音声の録音を行います。  |      |

### 機能設定

| 項目        | 項目説明                            | 設定値  | 設定内容   |
|-----------|---------------------------------|--|--|
| Gセンサー設定   | 衝撃を検出する感度を前後左右・上下それぞれ設定します。     | OFF 衝撃の検出を行いません。<br>0.1G (敏感) ~ [0.6G] ~1.0G (標準)  | 設定した感度で衝撃を検出し録画を行います。  |
| 緊急録画停止設定  | 緊急録画停止機能が作動する衝撃感度を設定します。        | OFF 強い衝撃を検出して録画を停止しません。<br>1.1G (敏感) ~ [1.5G] ~2.0G (鈍感)   | 設定した感度で衝撃を検出し録画を停止します。   |
| 画面表示設定    | 録画モード中の液晶ディスプレイの表示内容を設定します。     | OFF 液晶ディスプレイの表示を行いません。【メニュー/戻る】スイッチを押し続けると、液晶ディスプレイを30秒間表示し、消灯します。<br>時計 時計とカレンダーを常に表示します。【メニュー/戻る】スイッチを押すと30秒間録画映像を表示します。 | 起動時速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示になります。停車後も非表示のままとなります。【メニュー/戻る】スイッチを押すことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。 |
| 日時設定      | 本製品の日時を設定します。                   | —  | —  |
| SDカードの初期化 | microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。  | —  | —  |
| 工場出荷状態に戻す | 本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。 | —  | —  |

## 前方信号お知らせ機能

停車時に前方の信号機が青信号に変化した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間内に走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。



## 駐車監視モードを使用する(オプション)

- ・別売オプションのHDROP-14「駐車監視直接続コード」を使用することで、車両キースイッチOFF後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
  - ・HDROP-14「駐車監視直接続コード」接続後はメインメニューの「駐車監視モード」の設定を変更してください。接続しただけでは駐車監視モードに移りません。
  - ・別売オプションのHDROP-15「直接続コード」で接続しても駐車監視モードを使用することはできません。
- アドバイス
- 駐車監視モードを使用する場合は、メインメニューの【本体情報】から本製品への入力電圧を確認し、常時電源線の接続箇所と電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアース線接続箇所の変更を行ってください。

### 注意

- ・駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両（バッテリー）への負荷がかかります。定期的な車両（バッテリー）点検を行ってください。
- ・次のような車両（バッテリー）上りの原因となりますので使用を控えてください。(毎日駐車しない、1日の走行が1時間以下、車両（バッテリー）を1年以上使用している)
- ・駐車監視モードの使用後は車両（バッテリー）電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両（バッテリー）の充電を行ってください。車両（バッテリー）上りの原因となります。
- ・車両（バッテリー）上りに関しては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

## 本体音量を調整する

- ・録画面画面上で【アップ】または【ダウン】を**長押し**することで、音量を調整します。
- ・【OFF/1 ~ 10】の11段階から選択することができます。
- ・音量をOFFに設定しているため、メッセージ表示時の効果音は鳴りません。
- ・お買い上げ時は【5】に設定されています。

## 本体で映像を再生する

- 1) 録画面画面上で【メニュー/戻る】を**長押し**し、メインメニューを表示する。
- 2) (再生) を【アップ】または【ダウン】で選択し【OK】を押す。
- 3) 映像の種類を【アップ】または【ダウン】で選択し、【OK】を押す。
  - ・【常時録画】……………常時録画データを表示
  - ・【衝撃録画】……………衝撃検出による録画データを表示
  - ・【マニュアル録画】……………スイッチ操作による録画データを表示
  - ・【駐車監視常時録画】……………駐車監視中の常時録画データを表示
  - ・【駐車監視衝撃録画】……………駐車監視中の衝撃検出による録画データを表示
- 4) フォルダを【アップ】または【ダウン】で選択し、【OK】を押す。
- 5) ファイルを【アップ】または【ダウン】で選択し【OK】で映像を再生する。
- 6) 再生終了後は【メニュー/戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画面面に戻ります。

### 再生画面表示



### 再生画面での操作

| 操作スイッチ       | 短押し          | 長押し              |
|--------------|--------------|------------------|
| メニュー/戻る スイッチ | ファイルリストに戻る   | 録画面面に戻る          |
| OK スイッチ      | 再生 / 一時停止を行う | 再生中のデータを最初から再生する |
| ダウンスイッチ      | 前のデータへ戻る     | 音量を下げる           |
| アップスイッチ      | 次のデータへ進む     | 音量を上げる           |

## ■運転支援機能設定一覧

| 項目        | 項目説明                      | 設定値              | 設定内容   |
|-----------|---------------------------|------------------|--|
| キャリブレーション | —                         | —                | キャリブレーションの設定をします。                              |
| 先行車発進お知らせ | —                         | 【OFF】            | 先行車発進お知らせを行いません。                               |
| お知らせ設定    | お知らせする方法を設定します。           | 【OFF】 音声<br>アラーム | 先行車発進お知らせを音声で行います。先行車発進お知らせをアラームで行います。         |
| 警報時間設定    | 検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。 | 【+3秒お知らせ】        | 前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から3秒間走行を開始しないとお知らせを行います。 |
| 前方信号お知らせ  | お知らせする方法を設定します。           | 【OFF】 音声<br>アラーム | 前方信号お知らせを音声で行います。前方信号お知らせをアラームで行います。           |
| 警報時間設定    | 検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。 | 【+3秒お知らせ】        | 青信号を検出し、メッセージ画面の表示から3秒間走行を開始しないとお知らせを行います。     |

## ■駐車監視設定一覧

| 項目      | 項目説明                            | 設定値                    | 設定内容  |
|---------|---------------------------------|------------------------|---|
| 駐車監視モード | 駐車監視モードの設定を                     | 【OFF】 ON               | 駐車監視モードを設定しません。駐車監視モードを設定します。   |
| 録画方式    | 駐車監視録画方式を設定します。                 | 【常時・衝撃】 タイムラプス         | 駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。駐車監視モード中、1秒に1枚の静止画像を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。 |
| 衝撃感度    | 駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を設定します。       | 0.02G ~ [0.10GB] ~0.3G | 設定した感度で衝撃を検取れます。(0.02G 単位で設定可能)   |
| 録画時間    | 駐車監視モードの動作時間を設定します。             | 【30分】 ~24時間            | 設定した時間で駐車監視モードを停止します。(30分、1.36分、1.24時間設定可能)   |
| 録画停止電圧  | 駐車監視モードを停止する車両（バッテリー）の電圧を設定します。 | 常時ON 11.7V ~ [11.2V]   | 設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。(0.1V 単位で設定可能)  |

## 駐車監視モード作動中の microSD カードの取り出し方について

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本体は動作しています。そのため microSD カードを抜く際は、必ず【OK】スイッチを**長押し**して**駐車監視モードを終了し、LEDが消灯したことを確認**後、microSD カードを抜いてください。※本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。



## 駐車監視モードの動作について

### ■駐車監視モードに移行する

- ・「駐車監視モード」設定をONに設定し、車両キースイッチをOFFにすると駐車監視モードに移行します。
- ・駐車監視モード作動中はLEDランプが3回点滅を繰り返します。
- ・駐車監視モード中の常時録画データは「駐車監視常時録画」データとして記録され、衝撃録画データは「駐車監視衝撃録画」データとして記録されます。

### アドバイス

車両キースイッチ ON / OFF 後各3分間は、乗車時 / 降車時の振動や衝撃とみなし、駐車監視衝撃検出アナラウンスを行いません。※車両キースイッチ OFF 後 3 分間は駐車監視衝撃録画データとして記録を行いません。

### ■駐車監視モードを終了する(電源をOFFにする)

- ・駐車監視モードは車両キースイッチがACCまたはONIになった時点や【OK】スイッチを**長押し**したことで終了させることができます。
- ・設定も駐車監視モードになった際や「駐車監視録画面面」設定で終了した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

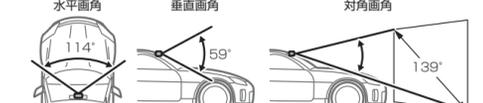


## 製品仕様

|          |  |
|----------|--|
| 電源電圧     | DC12V  |
| 最大消費電流   | 通常時:200mA以下(スリープ:キャパシタ充電時:450mA以下)   |
| 動作温度範囲   | -10℃~60℃   |
| カメラ      | 撮像素子 1/2.7型 CMOSセンサー<br>画素数 200万画素<br>有効画素数 最大200万画素<br>レンズ画角 水平 114 垂直 59° (対角 139°)<br>F値 F2.1 |
| 記録映像サイズ  | Full HD (1920×1080) / HD (1280×720)  |
| 録画画質     | キレイ平均12Mbps / おすすめ:平均10Mbps / ロング:平均8Mbps  |
| GPS      | ○  |
| Gセンサー    | ○  |
| 記録方式     | 常時録画 / イベント録画 (衝撃録画 / マニュアル録画 (手動録画))  |
| 録画ファイル構成 | 30秒単位  |
| 音声録音     | ON/OFF可能   |
| フレームレート  | 27.5fps / 17.5fps / 1fps (タイムラプス録画 ※駐車監視中のみ)   |
| 映像ファイル形式 | AVI (MPEG-4 AVC / H.264)   |
| 記録映像再生方法 | 専用ビューソフト ※Windows 8.1 / 10 / 11 専用 (タブレットPC除く)   |
| 記録媒体     | 本体液晶 microSDカード (付属:32GB/class10) 8~128GB対応 class10推奨  |
| 液晶サイズ    | 3.2インチフルカラー1F1F液晶  |
| 本体サイズ    | 89.0(W)×55.4(H)×33.7(D)/mm   |
| 取り付け準備時間 | 取付ステー装着時   |
| 重量       | 121.8g (取付ステー含む)   |

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

### ■カメラ画角イメージ



- ・ microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。
- ・ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップロゴ、ストリートビューは、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・ その他、本取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では「TM」マークは明記していません。

## 機器情報

※ メインメニュー内の【本体情報】を選択することで、本製品の入力電圧とソフトウェアバージョンを確認できます。

## 商標について

- ・ microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C LLCの商標